

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2016年1月29日から2021年4月16日 (当初、2025年11月17日) まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を含む世界各国の不動産投資信託(リート)および株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド(適格機関投資家専用) BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド マネー・トラスト・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、ヘルスケア施設に関連する世界各国の不動産投資信託(リート)および株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。 ■実質的な運用は、世界各国のヘルスケアリートおよびヘルスケア株式の調査・運用に精通したBNPパリバ・アセットマネジメント・グループが行います。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
配分方針	■年2回(原則として5月および11月の17日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ヘルスケア・ リート・プラス

【繰上償還 運用報告書(全体版)】

(2020年11月18日から2021年4月16日まで)

第 **11** 期
償還日 2021年4月16日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を含む世界各国の不動産投資信託(リート)および株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。当期についても、運用方針に沿った運用を行い、2021年4月16日に繰上償還となりました。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間:午前9時~午後5時(土、日、祝・休日を除く)

■ 最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 率 比	投 資 信 託 証 券 組 入 率 比	純 資 産 総 額
		税 分 配	込 金 騰 落	中 率			
	円	円		%	%	%	百万円
7 期 (2019年 5 月 17 日)	10,000	117		1.2	0.4	84.7	565
8 期 (2019年 11 月 18 日)	10,000	563		5.6	0.4	79.7	497
9 期 (2020年 5 月 18 日)	7,373	0		△26.3	0.6	94.2	419
10 期 (2020年 11 月 17 日)	9,472	0		28.5	0.5	84.5	517
(償還時)	(償還価額)						
11 期 (2021年 4 月 16 日)	10,750.09	—		13.5	—	—	237

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

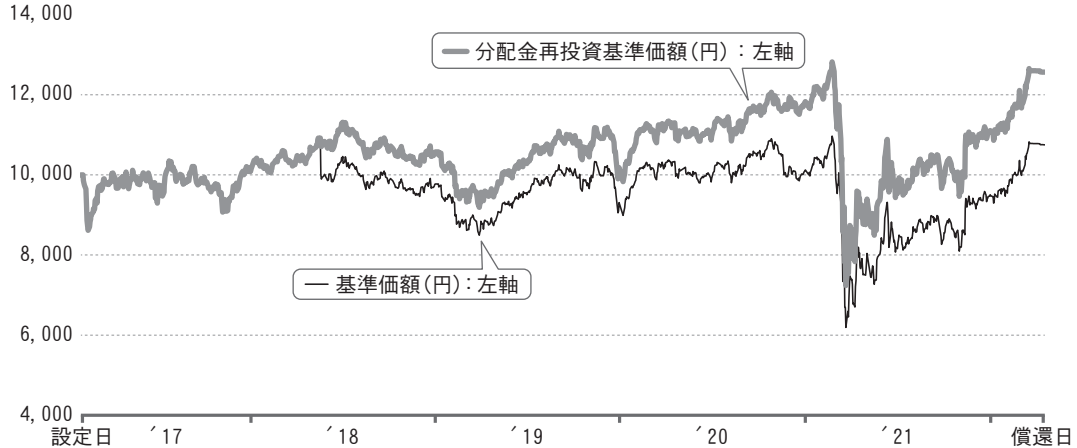
年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 率 比	投 資 信 託 証 券 組 入 率 比
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2020年11月17日	9,472		—	0.5	84.5
11月末	9,246		△ 2.4	0.5	97.3
12月末	9,480		0.1	0.5	92.3
2021年 1 月末	9,618		1.5	0.5	98.3
2 月末	10,121		6.9	0.4	98.8
3 月末	10,779		13.8	—	4.7
(償還時)	(償還価額)				
2021年 4 月 16 日	10,750.09		13.5	—	—

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

設定以来の運用状況（設定日2016年1月29日から償還日2021年4月16日まで）

設定以来の基準価額の推移



前作成期までの運用の概略（設定日2016年1月29日から第10期末2020年11月17日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、グローバル市場で上場しているヘルスケア関連の不動産投資信託証券（以下「ヘルスケア・リート」といいます。）およびヘルスケア関連の株式を主要投資対象として運用を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。以下は、設定日から第10期末までの基準価額の変動要因です。

【第1期（設定日（2016年1月29日）から2016年5月17日まで）】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2月半ばから3月末にかけて、原油価格の上昇や中国経済の安定化の兆しなどから、ヘルスケア・リートおよびヘルスケア施設関連株式が上昇したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定当初から2月半ばにかけて、中国の景気減速懸念、原油価格の一段安、米国のHCPが失望的な決算と業績見通しを発表したことなどから、ヘルスケア・リートおよびヘルスケア施設関連株式が下落したこと ・ 投資家のリスク回避姿勢の強まりなどから、円が対米ドルで上昇したこと

ヘルスケア・リート・プラス

【第2期（2016年5月18日から2016年11月17日まで）】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月下旬から7月中旬にかけて、長期金利の低下を受けてリート価格が上昇したことや、投資家のリスク回避姿勢の後退により円安が進行したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月上旬から下旬にかけて、英国の国民投票を巡る不透明感や予想外の国民投票結果を受けて、リートと株式が下落したこと ・ 9月上旬から期末にかけて、長期金利の上昇によりリート価格が下落したこと

【第3期（2016年11月18日から2017年5月17日まで）】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期初から2017年2月末頃にかけて、米国でトランプ新政権の財政拡張的な経済政策に対する期待感や堅調な経済指標などを背景にリートと株式が上昇し、為替市場で円が対米ドルで下落したこと ・ 4月中旬から期末にかけて、フランス大統領選挙の結果が市場に安心感をもたらし、為替市場で円が対米ドルで下落したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月上旬から中旬にかけて、トランプ大統領が公約していたオバマケア改廃法案について採決を断念したため政権運営への懸念が強まり、リートと株式が下落したこと

【第4期（2017年5月18日から2017年11月17日まで）】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期初から6月下旬にかけて、良好な経済指標を背景に米国株式市場が堅調に推移したことや、6月にフランス議会選挙でマクロン大統領の新党が過半数の議席を獲得し、政治リスクが後退するとの見方が広がったことなどから、リートと株式が上昇したこと ・ 期中、若干の米ドル高・円安となったこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月から期末にかけて、欧米の長期金利が上昇したことなどから、リートと株式が下落したこと

【第5期（2017年11月18日から2018年5月17日まで）】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国と欧州の主要な経済指標や企業業績が概ね良好だったことや米国税制改革法成立による景気拡大期待が広がったことなどが好感され、ヘルスケア施設関連株式が上昇したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期初から2018年2月下旬にかけて、米国長期金利の上昇や2月上旬の米国雇用統計を受けてインフレへの警戒感が高まったことなどから、ヘルスケア・リートが下落したこと ・ 米国の保護主義政策強化への警戒などから、米ドル安・円高が進んだこと

ヘルスケア・リート・プラス

【第6期（2018年5月18日から2018年11月19日まで）】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none">・米中貿易問題への懸念などが高まるなかで景気変動の影響を受けにくいとして選好されたことや、事業環境が相対的に良好だったことなどから、ヘルスケア・リートとヘルスケア関連株式が上昇したこと・米国景気に強気な見方などから、米ドルが円に対して上昇したこと
------	--

【第7期（2018年11月20日から2019年5月17日まで）】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none">・米国の利上げに対する警戒感の後退や、欧州の金融緩和が長期化するとの見方などから、ヘルスケア・リートが上昇したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none">・米国での医療保険制度の改廃を巡る協議を受けて業績への影響が懸念され、ヘルスケア関連株価が下落したこと・米国の景気や欧州の政治情勢に対する不透明感などから、米ドルやユーロが円に対して下落したこと

【第8期（2019年5月18日から2019年11月18日まで）】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none">・世界的に低金利環境が継続する中で、高利回りの不動産株に対する投資家の需要が高まり、ヘルスケア関連株式およびヘルスケア・リートが上昇したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none">・米中貿易摩擦、米トランプ大統領の弾劾問題、米経済指標の軟調さなどから、対円で米ドル安となったこと

【第9期（2019年11月19日から2020年5月18日まで）】

下落要因	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことにより経済が減速し、ヘルスケア・リートおよびヘルスケア関連株式が下落したこと・期を通じてみると、対円で米ドル安となったこと
------	--

【第10期（2020年5月19日から2020年11月17日まで）】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルスの感染拡大ペースが緩やかになり、各国政府が経済活動の再開に向けた動きをみせたことで投資家心理が改善したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none">・期を通じてみると、対円で米ドル安となったこと

1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年11月18日から2021年4月16日まで)

基準価額等の推移



期 首	9,472円
-----	--------

償 還 日	10,750円09銭
-------	------------

騰 落 率	+13.5%
-------	--------

基準価額の主な変動要因(2020年11月18日から2021年4月16日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、グローバル市場で上場しているヘルスケア関連の不動産投資信託証券およびヘルスケア関連の株式を主要投資対象として運用を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 新型コロナウイルスのワクチン接種の進展により、今後の景気回復期待から投資家心理が改善したことで、ヘルスケア・リート、ヘルスケア関連株式がともに上昇したこと
- 期を通じてみると、対円で米ドル高となったこと

投資環境について(2020年11月18日から2021年4月16日まで)

期を通じてみると、ヘルスケア・リート、ヘルスケア関連株式はともに上昇しました。為替市場は、米ドル高・円安となりました。

ヘルスケア・リート市場

ヘルスケア・リートは、期を通してみると上昇しました。

期初から12月末にかけて、ヘルスケア・リートは概ね横ばいとなりました。新型コロナウイルスワクチンの接種が開始されたことなどが支援材料となる一方で、感染拡大が引き続き見られたことや、割安な銘柄が選好される中で一部ディフェンシブ性(景気変動の影響を受けにくいこと)の高い銘柄が売られたことなどが下落要因となりました。1月から償還日にかけて、ヘルスケア・リートは上昇しました。ワクチンの接種が進展したことで景気回復期待が高まったことが支援材料となりました。

当期のヘルスケア・リートの動きをブルームバーグREIT指数ヘルスケア(米ドルベース)でみると、9.4%上昇しました。

ヘルスケア関連株式市場

当期のヘルスケア関連株式も大きく上昇しました。一部銘柄の事業見通しに懸念が生じたことなどが嫌気されましたが、新型コロナ

ウイルスワクチンの接種が進展していることで、新型コロナウイルス関連以外で医療関連施設への需要が高まったことなどが支援材料となりました。

当期のヘルスケア関連株式の動きをラッセル3000ヘルスケア施設指数(米ドルベース)でみると、22.5%の上昇となりました。

為替市場

米ドル・円は期初から年末にかけては横ばいで推移しましたが、年明けから償還日にかけては、景気回復期待の高まりなどから、米ドルは対円で上昇しました。

当期の米ドル・円は、期首104円48銭から償還日108円72銭へと、4円24銭の米ドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて(2020年11月18日から2021年4月16日まで)

当ファンド

2021年3月中旬までは、「BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)」を高位に組み入れました。3月中旬以降は、4月16日の償還に向け売却を行いました。

BNP パリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)

繰上償還のため、2021年3月に保有する全銘柄を売却しました。

マネー・トラスト・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2020年11月18日から2021年4月16日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2020年11月18日から2021年4月16日まで)

償還のため、該当事項はございません。

2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

繰上償還について

信託約款の繰上償還規定の「受益権の口数が10億口を下回る」状態が継続していることから、運用の基本方針に従った運用を続けることが困難となっています。

また、当ファンドが投資対象とする投資信託「BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)」の運用会社であるBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社より、2021年4月13日をもって繰上償還する方針が示されました。そのため、信託期間中ではありませんが運用を終了させ、お預かりした資産をお返しすることが受益者の皆さまにとって有利であると判断し、信託約款の規定に従い繰上償還の手続きを実施させていただきました。

法令および信託約款の規定に基づき、2021年3月16日に書面決議を行い、2021年2月12日現在の議決権を行使することができる受益者の方の議決権の3分の2以上に当たる賛成をもって可決されましたので、2021年4月16日をもって繰上償還となりました。

■ 1万口当たりの費用明細 (2020年11月18日から2021年4月16日まで)

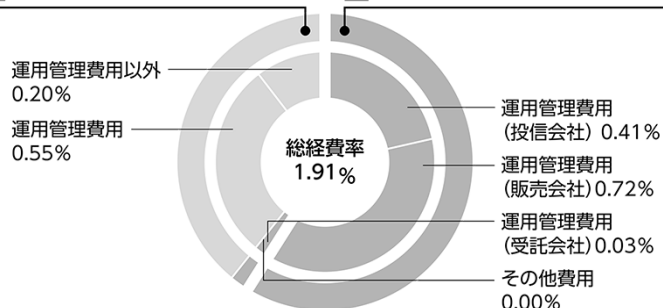
項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	47円 (16) (29) (1)	0.475% (0.167) (0.294) (0.014)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	0 (－) (0)	0.000 (－) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	47	0.475	

期中の平均基準価額は9,848円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
 ※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
 ※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
 ※その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
 ※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「1万口当たりの費用明細」をご覧ください。

参考情報 総経費率（年率換算）

② 投資先ファンドの費用 0.75% ① 当ファンドの費用 1.16%



総経費率 (① + ②) 1.91%

① 当ファンドの費用の比率 1.16%

投資先ファンドの運用管理費用の比率 0.55%

② 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 0.20%

※①の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※②の各費用は、投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の「1万口当たりの費用明細」をもとに、委託会社が年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※①と②の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は1.91%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2020年11月18日から2021年4月16日まで)

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内		口	千円	口	千円
	BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド (適格機関投資家専用)	93,086,404	80,400	588,708,221	579,276
合 計		93,086,404	80,400	588,708,221	579,276

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・トラスト・マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 3,392	千円 3,381

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 利害関係人との取引状況等 (2020年11月18日から2021年4月16日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年11月18日から2021年4月16日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2021年4月16日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組入比率
	口	口	千円	%
BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド (適格機関投資家専用)	495,621,817	-	-	-
合 計	495,621,817	-	-	-

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首(前期末)		期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
マネー・トラスト・マザーファンド	千口 3,392	千口 -	千円 -	千円 -

※単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2021年4月16日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 243,144	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	243,144	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2021年4月16日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	243,144,065円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	243,144,065
(B) 負 債	5,169,865
未 払 解 約 金	3,015,198
未 払 信 託 報 酬	2,152,510
未 払 利 息	2,157
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	237,974,200
元 本	221,369,405
償 還 差 益 金	16,604,795
(D) 受 益 権 総 口 数	221,369,405口
1 万 口 当 たり 償 還 価 額 (C / D)	10,750円09銭

※当期における期首元本額546,169,703円、期中追加設定元本額41,909,232円、期中一部解約元本額366,709,530円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2020年11月18日 至2021年4月16日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 19,388
支 払 利 息	△ 19,388
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	30,365,922
売 買 益	49,009,830
売 買 損	△18,643,908
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,154,011
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	28,192,523
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 5,927,375
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 5,660,353
(配 当 等 相 当 額)	(9,112,010)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△14,772,363)
償 還 差 益 金 (D + E + F)	16,604,795

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■ 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2016年1月29日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年4月16日		資産総額	243,144,065円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	5,169,865円
受益権口数	458,316,962口	221,369,405口	△236,947,557口	純資産総額	237,974,200円
元本額	458,316,962円	221,369,405円	△236,947,557円	受益権口数	221,369,405口
				1万口当たり償還金	10,750.09円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	864,407,061円	860,234,776円	9,952円	0円	0.00%
第2期	904,711,852	844,942,334	9,339	0	0.00
第3期	678,560,334	678,579,881	10,000	819	8.19
第4期	716,098,315	685,735,235	9,576	0	0.00
第5期	778,317,587	721,024,468	9,264	0	0.00
第6期	676,170,273	676,194,489	10,000	108	1.08
第7期	565,030,543	565,028,918	10,000	117	1.17
第8期	497,787,986	497,776,592	10,000	563	5.63
第9期	569,160,312	419,664,957	7,373	0	0.00
第10期	546,169,703	517,355,864	9,472	0	0.00

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信（リート）		
信託期間	設定日（2016年2月1日）から2021年4月13日まで		
運用方針	BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券を主要投資対象とし、安定的な収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。		
主要運用対象	ベビーファンド	マザーファンド受益証券	
	マザーファンド	グローバル市場で上場等されているヘルスケア関連の不動産投資信託証券（以下「リート」といいます。）、ヘルスケア関連の株式	
組入制限	ベビーファンド	リート	実質投資割合は信託財産の純資産総額の65%以上とします。
		外貨建資産	実質投資割合には制限を設けません。
		デリバティブ	ヘッジ目的に限定します。
	マザーファンド	リート	投資割合は信託財産の純資産総額の65%以上とします。
		外貨建資産	投資割合には制限を設けません。
		デリバティブ	ヘッジ目的に限定します。
分配方針	毎決算時（毎年5月9日及び11月9日。休業日の場合は翌営業日。）に、原則として収益分配を行う方針です。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。収益分配額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、信託財産の状況によっては分配を行わないこともあります。		

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

運用報告書(全体版)

償還

第11期(償還日 2021年4月13日)

BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド (適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／不動産投信（リート）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド（適格機関投資家専用）は、2021年4月13日をもって償還いたしました。

ここに、謹んで運用状況と償還金をご報告申し上げます。

当ファンドをご愛顧賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

お問い合わせ窓口

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

電話番号：0120-996-222

受付時間：毎営業日 午前10時～午後5時

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-9-1 グラントウキョウノースタワー

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			Bloomberg REIT Healthcare Index		株式組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税金	み	期	(参考指数)			
	円	金	騰	落				百万円
7期(2019年5月9日)	9,406	248	△	1.7	173.4	2.9	28.9	528
8期(2019年11月11日)	9,855	241		7.3	187.0	7.8	30.7	471
9期(2020年5月11日)	7,343	280	△	22.6	122.3	△34.6	28.3	415
10期(2020年11月9日)	7,840	321		11.1	139.4	14.0	29.7	442
(償還時) 11期(2021年4月13日)	(償還価額) 9,561.18	—		22.0	174.8	25.4	—	11

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」及び「投資信託証券組入比率」は実質組入比率を記載しております。

(注4) Bloomberg REIT Healthcare Index（ブルームバーグREIT指数ヘルスケア）は参考指数として併記しており、基準価額への反映を考慮して前日の値を使用しております。なお、Bloomberg REIT Healthcare Indexは当ファンドのベンチマークではありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		Bloomberg REIT Healthcare Index		株式組入比率	投資信託証券組入比率
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率		
	円	金				
(期首) 2020年11月9日	7,840	—	139.4	—	29.7	65.6
11月末	8,583	9.5	156.9	12.5	29.3	65.6
12月末	8,810	12.4	159.2	14.2	29.6	68.0
2021年1月末	8,943	14.1	157.1	12.7	29.7	65.4
2月末	9,424	20.2	167.0	19.8	29.0	65.4
3月末	10,008	27.7	171.4	22.9	—	—
(償還時) 2021年4月13日	(償還価額) 9,561.18	22.0	174.8	25.4	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

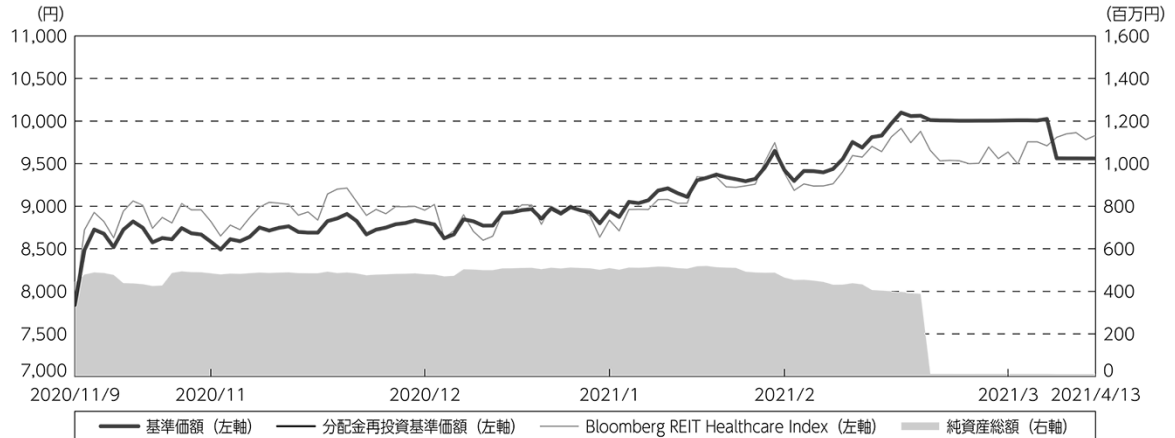
(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」及び「投資信託証券組入比率」は実質組入比率を記載しております。

(注4) Bloomberg REIT Healthcare Index（ブルームバーグREIT指数ヘルスケア）は参考指数として併記しており、基準価額への反映を考慮して前日の値を使用しております。なお、Bloomberg REIT Healthcare Indexは当ファンドのベンチマークではありません。

○運用経過

（2020年11月10日～2021年4月13日）

■期中の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびBloomberg REIT Healthcare Indexは、期首（2020年11月9日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注5) Bloomberg REIT Healthcare Indexは当ファンドの参考指数です。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）を通じて、グローバル市場で上場等されているヘルスケア関連の不動産投資信託証券（以下「リート」といいます。）に投資しました。また、ヘルスケア関連の株式にも投資を行いました。外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行っていません。したがって、基準価額はヘルスケア関連のリートの価格と株価、および為替の変動により影響を受けました。

設定来の基準価額は上昇しました。主な変動要因は下記の通りです。

上昇要因

欧米を中心に金融緩和となったことや、新型コロナウイルスに有効なワクチンの接種の進展により、今後の景気回復期待の高まりなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

長期金利上昇懸念や、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う各国政府の感染防止措置などが嫌気され、基準価額の下落要因となりました。

当最終期の基準価額は上昇しました。主な変動要因は下記の通りです。

上昇要因

米国を中心に新型コロナウイルスに有効なワクチン接種の進展により、今後の景気回復期待の高まりなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

ワクチン接種が遅れている国において、新型コロナウイルスの感染が収まっていないことから投資家が慎重なスタンスとなったことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■投資環境（2016年2月1日～2021年4月13日）**設定来の投資環境****ヘルスケア・リート**

ブルームバーグREIT指数ヘルスケア（米ドルベース）に代表されるヘルスケア関連のリートの価格は、当ファンドの設定から最終期にかけて9.7%上昇しました。

当ファンドの設定から2017年6月末にかけて堅調に推移しました。米下院でのオバマケア改廃法案の採決の混乱やFOMC（米連邦公開市場委員会）による利上げの決定などにより金利先高観から下落する局面がありましたが、米国経済の下振れ懸念の低下や原油価格の持ち直しなどが好感されて堅調に推移しました。その後、2018年4月末にかけて米国経済指標の市場予想を上回る上昇や、積極的な財政支出に伴う国債発行の増大見通しから米国長期金利が上昇したことなどが嫌気され下落しました。2018年5月から2020年2月にかけて、米中貿易摩擦をめぐる不透明感が広がったことや、米国におけるオバマケア改廃や国民皆保険制度の議論が嫌気される局面がありましたが、欧米で金融緩和期待が高まったことや、市場からヘルスケア・リートのディフェンシブ性が好感されたことなどが支援材料となり上昇しました。2020年2月後半から4月前半にかけて、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う各国政府の感染拡大防止措置などが嫌気されて下落しました。最終期にかけて、感染再拡大などが嫌気されましたが、ワクチン接種の進展やそれに伴う景気回復期待の高まりもあって上昇しました。

ヘルスケア関連株式

ラッセル3000ヘルスケア施設指数（米ドルベース）に代表されるヘルスケア関連株価は当ファンドの設定から最終期にかけて85.3%上昇しました。

当ファンドの設定から2017年7月後半にかけて堅調に推移しました。米下院でのオバマケア改廃法案の採決の混乱やFOMCによる利上げの決定などにより金利先高観から下落する局面がありましたが、米国経済の下振れ懸念の低下や原油価格の持ち直しが好感されて上昇しました。その後、2017年11月末にかけて米国における税制改革進展の見通しから長期金利が上昇したことなどにより下落しました。2017年終盤から2020年2月にかけて、米中貿易摩擦をめぐる不透明感が広がったことや、米国におけるオバマケア改廃や国民皆保険制度の議論が嫌気される局面がありましたが、欧米で金融緩和期待が高まったことや、高利回り不動産株式に対する需要が高まったことなどが支援材料となりました。2020年2月後半から4月前半にかけて、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う各国政府の感染拡大防止措置などが嫌気されて下落しました。最終期

にかけて、感染再拡大などが嫌気されましたが、ワクチン接種の進展やそれに伴う景気回復期待の高まりもあって上昇しました。

為替市場

設定来では対円で主要投資対象通貨が下落しました。

■当ファンドのポートフォリオ（2016年2月1日～2021年4月13日）

当ファンドは、信託期間を通じて、マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。なお、繰上償還のためマザーファンドは2021年3月に保有する全銘柄を売却し、当ファンドでは信託終了日（2021年4月13日）にかけてマザーファンドの償還金を受け取りました。

■分配金（2016年2月1日～2021年4月13日）

各決算日に収益分配方針に基づき、基準価額の水準や市場動向などを勘案して収益分配金額を決定しました。信託期間の分配金累計額は、1万口当たり2,661円（税込み）となりました。

なお、分配金にあてなかった留保益については、特に制限を設けず、元本と同一の運用を行いました。

■償還について

当ファンドは2021年4月13日に繰上償還し、償還価額は9,561円18銭となりました。

これまで当ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年11月10日～2021年4月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	28	0.304	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(26)	(0.285)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.005)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0.109	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(2)	(0.022)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(8)	(0.087)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.003	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.002)	
(d) そ の 他 費 用	10	0.105	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(6)	(0.068)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の 移転等に要する費用
（ 印 刷 ）	(3)	(0.036)	運用報告書等の法定書類の作成に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他の費用
合 計	48	0.521	
期中の平均基準価額は、9,153円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

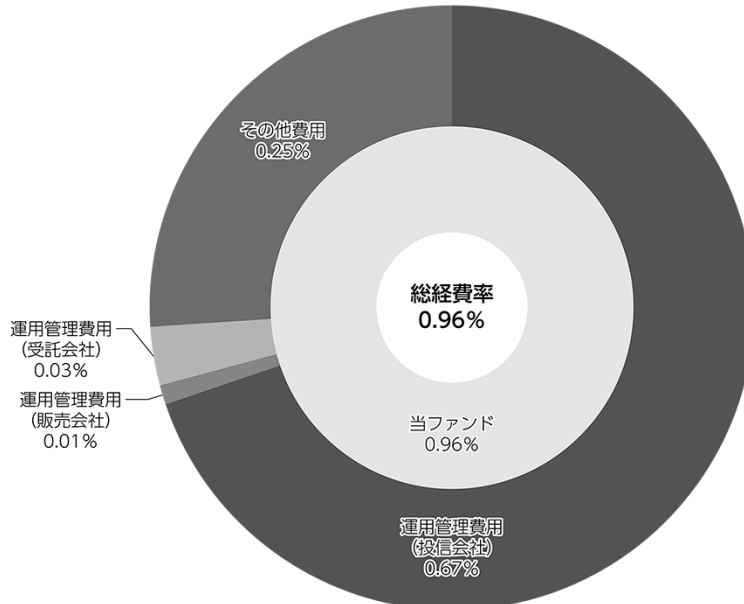
(注3) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.96%です。



(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年11月10日～2021年4月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド	千口 65,627	千円 79,000	千口 468,621	千円 633,445

(注) 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2020年11月10日～2021年4月13日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	198,793千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	142,560千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.39	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年11月10日～2021年4月13日)

利害関係人との取引状況

<BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド（適格機関投資家専用）>
該当事項はございません。

<BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 74	百万円 —	% —	百万円 621	百万円 0.088712	% 0.0

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはBNPパリバ銀行東京支店です。

○組入資産の明細

(2021年4月13日現在)

2021年4月13日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド			千口 402,994

(注) 単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年4月13日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他		千円 12,884	% 100.0
投資信託財産総額		12,884	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2021年4月13日現在）

項 目	償 還 時	円
(A) 資産	12,884,535	
コール・ローン等	12,884,535	
(B) 負債	1,371,253	
未払信託報酬	1,227,722	
未払利息	33	
その他未払費用	143,498	
(C) 純資産総額(A-B)	11,513,282	
元本	12,041,690	
償還差損金	△ 528,408	
(D) 受益権総口数	12,041,690口	
1万口当たり償還価額(C/D)	9,561円18銭	

- (注1) 期首元本額 564,021,726円
 期中追加設定元本額 93,086,404円
 期中一部解約元本額 645,066,440円
 1口当たり純資産額 0.956118円
- (注2) 純資産総額が元本を下回っており、その差額は528,408円です。

○損益の状況（2020年11月10日～2021年4月13日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 688	
支払利息	△ 688	
(B) 有価証券売買損益	3,290,997	
売買益	82,875,365	
売買損	△79,584,368	
(C) 信託報酬等	△ 1,371,220	
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,919,089	
(E) 前期繰越損益金	△ 1,472,007	
(F) 追加信託差損益金	△ 975,490	
(配当等相当額)	(11,539)	
(売買損益相当額)	(△ 987,029)	
償還差損金(D+E+F)	△ 528,408	

- (注1) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注3) 当期における、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用は、679,009円です。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2016年2月1日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年4月13日		資産総額	12,884,535円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	1,371,253円
				純資産総額	11,513,282円
受益権口数	439,150,000口	12,041,690口	△427,108,310口	受益権口数	12,041,690口
元本額	439,150,000円	12,041,690円	△427,108,310円	1万口当たり償還金	9,561円18銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	770,794,894円	763,648,329円	9,907円	55円	0.55%
第2期	891,428,593	794,865,636	8,917	179	1.79
第3期	631,841,502	662,577,875	10,486	179	1.79
第4期	669,153,802	657,657,218	9,828	394	3.94
第5期	726,835,199	643,101,521	8,848	442	4.42
第6期	684,863,075	672,547,527	9,820	322	3.22
第7期	561,929,947	528,554,503	9,406	248	2.48
第8期	478,779,153	471,850,534	9,855	241	2.41
第9期	566,018,065	415,637,878	7,343	280	2.80
第10期	564,021,726	442,219,426	7,840	321	3.21

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	9,561円18銭
----------------	-----------

BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド

運用報告書

償還

<第6期>

償還日 2021年4月12日

(計算期間 2020年11月10日～2021年4月12日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	グローバル市場で上場等されているヘルスケア関連の不動産投資信託証券（以下「リート」といいます。）を主要投資対象とし、安定的な収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。 <ul style="list-style-type: none">・グローバル市場で上場等されているヘルスケア関連のリートに投資します。また、ヘルスケア関連の株式にも投資します。・ヘルスケア関連のリート及びヘルスケア関連の株式への組入比率は高位に保つことを基本とします。・外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行いません。・資金動向、市況動向、その他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。・BNPパリバ・アセットマネジメント・ネーデルラント N.V. (BNP PARIBAS ASSET MANAGEMENT Nederland N.V.) に運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	主としてグローバル市場で上場等されているヘルスケア関連のリート、ヘルスケア関連の株式	
組入制限	リート	投資割合は、信託財産の純資産総額の65%以上とします。
	外貨建資産	投資割合には制限を設けません。
	デリバティブ	ヘッジ目的に限定します。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		Bloomberg REIT Healthcare Index (参考指数)		株式 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	円 騰落	率 %	騰落	率 %			
2期(2017年11月9日)	10,798	17.9	169.6	1.7	27.4	64.9	百万円 653
3期(2018年11月9日)	11,811	9.4	168.5	△0.6	29.4	69.2	664
4期(2019年11月11日)	12,563	6.4	187.0	11.0	31.4	68.5	460
5期(2020年11月9日)	10,869	△13.5	139.4	△25.5	30.0	66.3	438
(償還時) 6期(2021年4月12日)	(償還価額) 11,307.24	4.0	174.0	24.8	—	—	2

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) Bloomberg REIT Healthcare Index (ブルームバーグREIT指数ヘルスケア) は参考指数として併記しており、基準価額への反映を考慮して前日の値を使用しております。なお、Bloomberg REIT Healthcare Indexは当ファンドのベンチマークではありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		Bloomberg REIT Healthcare Index (参考指数)		株式 組入比率	投資信託 組入比率
	円 騰落	率 %	騰落	率 %		
(期首) 2020年11月9日	10,869	—	139.4	—	30.0	66.3
11月末	11,912	9.6	156.9	12.5	29.5	66.0
12月末	12,238	12.6	159.2	14.2	29.8	68.4
2021年1月末	12,443	14.5	157.1	12.7	29.9	65.9
2月末	13,125	20.8	167.0	19.8	29.2	66.1
3月末	13,776	26.7	171.4	22.9	—	—
(償還時) 2021年4月12日	(償還価額) 11,307.24	4.0	174.0	24.8	—	—

(注1) 基準価額は1万円当たり。

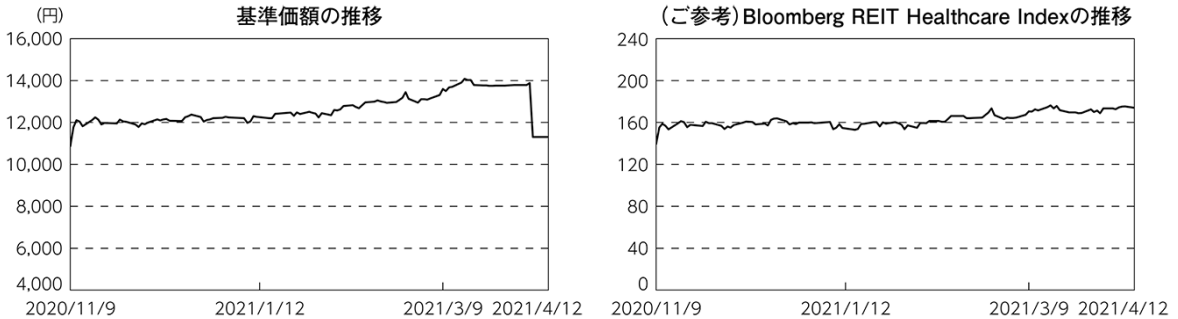
(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) Bloomberg REIT Healthcare Index (ブルームバーグREIT指数ヘルスケア) は参考指数として併記しており、基準価額への反映を考慮して前日の値を使用しております。なお、Bloomberg REIT Healthcare Indexは当ファンドのベンチマークではありません。

○運用経過

(2020年11月10日～2021年4月12日)

■期中の基準価額等の推移



■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、グローバル市場で上場等されているヘルスケア関連の不動産投資信託証券（以下「リート」といいます。）に投資しました。また、ヘルスケア関連の株式にも投資を行いました。外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行っていません。したがって、基準価額はヘルスケア関連のリー트의価格と株価、および為替の変動により影響を受けました。

設定来の基準価額は上昇しました。主な変動要因は下記の通りです。

上昇要因

欧米を中心に金融緩和となったことや、新型コロナウイルスに有効なワクチンの接種の進展により、今後の景気回復期待の高まりなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

長期金利上昇懸念や、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う各国政府の感染防止措置などが嫌気され、基準価額の下落要因となりました。

当最終期の基準価額は上昇しました。主な変動要因は下記の通りです。

上昇要因

米国を中心に新型コロナウイルスに有効なワクチン接種の進展により、今後の景気回復期待の高まりなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

ワクチン接種が遅れている国において、新型コロナウイルスの感染が収まっていないことから投資家が慎重なスタンスとなったことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■投資環境

【設定来の投資環境】

ヘルスケア・リート

ブルームバーグREIT指数ヘルスケア（米ドルベース）に代表されるヘルスケア関連のリーートの価格は、当ファンドの設定から最終期にかけて9.2%上昇しました。

当ファンドの設定から2017年6月末にかけて堅調に推移しました。米下院でのオバマケア改廃法案の採決の混乱やFOMC（米連邦公開市場委員会）による利上げの決定などにより金利先高観から下落する局面がありましたが、米国経済の下振れ懸念の低下や原油価格の持ち直しなどが好感されて堅調に推移しました。その後、2018年4月末にかけて米国経済指標の市場予想を上回る上昇や、積極的な財政支出に伴う国債発行の増大見通しから米国長期金利が上昇したことなどが嫌気され下落しました。2018年5月から2020年2月にかけて、米中貿易摩擦をめぐる不透明感が広がったことや、米国におけるオバマケア改廃や国民皆保険制度の議論が嫌気される局面がありましたが、欧米で金融緩和期待が高まったことや、市場からヘルスケア・リーートのディフェンシブ性が好感されたことなどが支援材料となり上昇しました。2020年2月後半から4月前半にかけて、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う各国政府の感染拡大防止措置などが嫌気されて下落しました。最終期にかけて、感染再拡大などが嫌気されましたが、ワクチン接種の進展やそれに伴う景気回復期待の高まりもあって上昇しました。

ヘルスケア関連株式

ラッセル3000ヘルスケア施設指数（米ドルベース）に代表されるヘルスケア関連株価は当ファンドの設定から最終期にかけて85.1%上昇しました。

当ファンドの設定から2017年7月後半にかけて堅調に推移しました。米下院でのオバマケア改廃法案の採決の混乱やFOMCによる利上げの決定などにより金利先高観から下落する局面がありましたが、米国経済の下振れ懸念の低下や原油価格の持ち直しが好感されて上昇しました。その後、2017年11月末にかけて米国における税制改革進展の見通しから長期金利が上昇したことなどにより下落しました。2017年終盤から2020年2月にかけて、米中貿易摩擦をめぐる不透明感が広がったことや、米国におけるオバマケア改廃法案や国民皆保険制度の議論が嫌気される局面がありましたが、欧米で金融緩和期待が高まったことや、高利回り不動産株式に対する需要が高まったことなどが支援材料となりました。2020年2月後半から4月前半にかけて、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う各国政府の感染拡大防止措置などが嫌気されて下落しました。最終期にかけて、感染再拡大などが嫌気されましたが、ワクチン接種の進展やそれに伴う景気回復期待の高まりもあって上昇しました。

為替市場

設定来では対円で主要投資対象通貨が下落しました。

■当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは繰上償還のため、2021年3月に保有する全銘柄を売却しました。

■償還について

当ファンドは2021年4月12日に繰上償還し、償還価額は11,307円24銭となりました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年11月10日～2021年4月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 14 (3) (11)	% 0.111 (0.022) (0.089)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	0 (0) (0)	0.003 (0.001) (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	27 (27) (0)	0.211 (0.210) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理等に要するその他の費用
合 計	41	0.325	
期中の平均基準価額は、12,698円です。			

(注1) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年11月10日～2021年4月12日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 8	千米ドル 113	百株 109	千米ドル 1,138
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	—	—	18	111
	フランス	—	—	9	97
国	オーストラリア	6	千オーストラリアドル 41	14	千オーストラリアドル 96
	ニュージーランド	—	千ニュージーランドドル —	83	千ニュージーランドドル 130
	タイ	—	千タイバーツ —	819	千タイバーツ 1,751
	南アフリカ	103	千ランド 172	486	千ランド 935

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	738	26	7,981	306
LTC PROPERTIES INC	—	—	3,803	164
NATL HEALTH INVESTORS INC	351	22	2,877	215
VENTAS INC	1,838	88	10,380	567
SABRA HEALTH CARE REIT INC	3,323	55	11,652	210
PHYSICIANS REALTY TRUST	—	—	9,079	165
HEALTHPEAK PROPERTIES INC	2,187	65	15,455	483
HEALTHCARE TRUST OF AME-CL A	1,747	46	13,111	368
WELLTOWER INC	1,090	70	7,713	553
小計	11,274	375	82,051	3,036
ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
ベルギー				
COFINIMMO	863	110	2,214	280
AEDIFICA	98	9	1,432	142
小計	961	119	3,646	422
ユーロ計	961	119	3,646	422
イギリス		千イギリスポンド		千イギリスポンド
ASSURA PLC	11,374	8	193,213	139
小計	11,374	8	193,213	139
オーストラリア		千オーストラリアドル		千オーストラリアドル
ARENA REIT	—	—	73,112	229
小計	—	—	73,112	229

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2020年11月10日～2021年4月12日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	198,793千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	142,560千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.39

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年11月10日～2021年4月12日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 74	百万円 —	% —	百万円 621	百万円 0.088712	% 0.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはBNPパリバ銀行東京支店です。

○組入資産の明細

(2021年4月12日現在)

2021年4月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

外国株式

銘 柄	期首(前期末)	
	株 数	
(アメリカ)		百株
LABORATORY CRP OF AMER HLDGS		10
UNIVERSAL HEALTH SERVICES-B		11
HCA HEALTHCARE INC		13
ACADIA HEALTHCARE CO INC		25
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC		39
小 計	株 数	100
	銘 柄 数	5
(ユーロ…ドイツ)		
FRESENIUS MEDICAL CARE AG &		18
小 計	株 数	18
	銘 柄 数	1
(ユーロ…フランス)		
ORPEA		9
小 計	株 数	9
	銘 柄 数	1
ユ ー ロ 計	株 数	28
	銘 柄 数	2

銘 柄	期首(前期末)	
	株 数	
(オーストラリア)		百株
RAMSAY HEALTH CARE LTD		8
小 計	株 数	8
	銘 柄 数	1
(ニュージーランド)		
RYMAN HEALTHCARE LTD		83
小 計	株 数	83
	銘 柄 数	1
(タイ)		
BANGKOK DUSIT MEDICAL SERVICES/F		819
小 計	株 数	819
	銘 柄 数	1
(南アフリカ)		
LIFE HEALTHCARE GROUP HOLDIN		383
小 計	株 数	383
	銘 柄 数	1
合 計	株 数	1,422
	銘 柄 数	11

(注) 株数の単位未満は切り捨て。

外国投資信託証券

銘柄	口数	期首(前期末)	
		口数	口数
(アメリカ)			
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS			7,243
LTC PROPERTIES INC			3,803
NATL HEALTH INVESTORS INC			2,526
VENTAS INC			8,542
SABRA HEALTH CARE REIT INC			8,329
PHYSICIANS REALTY TRUST			9,079
HEALTHPEAK PROPERTIES INC			13,268
HEALTHCARE TRUST OF AME-CL A			11,364
WELLTOWER INC			6,623
小計	口数	口数	70,777
(ユーロ…ベルギー)			
COFINIMMO			1,351
AEDIFICA			1,334
ユーロ計	口数	口数	2,685
(イギリス)			
ASSURA PLC			181,839
小計	口数	口数	181,839
(オーストラリア)			
ARENA REIT			73,112
小計	口数	口数	73,112
合計	口数	口数	328,413
	口数	口数	13

○投資信託財産の構成

(2021年4月12日現在)

項目	償還時	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 2,445	% 100.0
投資信託財産総額	2,445	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2021年4月12日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	2,445,567
コール・ローン等	2,445,567
(B) 負債	6
未払利息	6
(C) 純資産総額(A-B)	2,445,561
元本	2,162,828
償還差益金	282,733
(D) 受益権総口数	2,162,828口
1万口当たり償還価額(C/D)	11,307円24銭

- (注1) 期首元本額 402,994,801円
 期中追加設定元本額 65,627,095円
 期中一部解約元本額 466,459,068円
 1口当たり純資産額 1.130724円
- (注2) 期末における元本の内訳
 BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド(適格機
 関投資家専用) 2,162,828円

○損益の状況 (2020年11月10日～2021年4月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5,638,372
受取配当金	5,647,179
支払利息	△ 8,807
(B) 有価証券売買損益	111,607,691
売買益	116,253,401
売買損	△ 4,645,710
(C) 保管費用等	△ 834,402
(D) 当期損益金(A+B+C)	116,411,661
(E) 前期繰越損益金	35,039,099
(F) 追加信託差損益金	13,372,905
(G) 解約差損益金	△164,540,932
償還差益金(D+E+F+G)	282,733

- (注1) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注2) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

マネー・トラスト・マザーファンド

第5期（2019年10月16日から2020年10月12日まで）

信託期間	無期限（設定日：2016年1月29日）
運用方針	■主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 券 組 入 率	純 資 産 額
		騰 落 率	中 率		
(設 定 日) 2016年1月29日	円 10,000		% -	% -	百万円 10
1期（2016年10月12日）	10,001	0.0		80.4	10
2期（2017年10月12日）	9,992	△0.1		90.6	10
3期（2018年10月12日）	9,986	△0.1		68.2	10
4期（2019年10月15日）	9,980	△0.1		68.7	10
5期（2020年10月12日）	9,970	△0.1		74.8	12

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

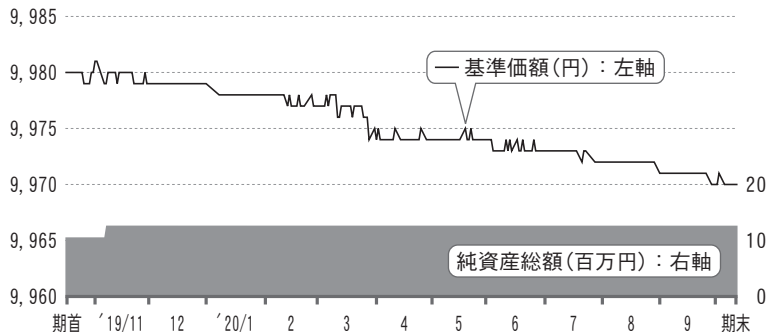
年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 率
		騰 落 率	率	
(期 首) 2019年10月15日	円 9,980		% -	% 68.7
10月末	9,981	0.0		68.6
11月末	9,979	△0.0		57.2
12月末	9,979	△0.0		68.4
2020年1月末	9,978	△0.0		68.4
2月末	9,977	△0.0		68.3
3月末	9,974	△0.1		69.3
4月末	9,974	△0.1		69.2
5月末	9,974	△0.1		72.5
6月末	9,973	△0.1		72.5
7月末	9,972	△0.1		72.4
8月末	9,971	△0.1		74.9
9月末	9,970	△0.1		74.8
(期 末) 2020年10月12日	9,970	△0.1		74.8

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2019年10月16日から2020年10月12日まで）

基準価額等の推移



期首	9,980円
期末	9,970円
騰落率	-0.1%

▶ 基準価額の主な変動要因（2019年10月16日から2020年10月12日まで）

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

- ・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について（2019年10月16日から2020年10月12日まで）

当期の短期金利は上昇しました。

物価上昇率の伸びが徐々に鈍化したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大により景気が大きく落ち込んだことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を据え置き、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初から年末越えの運用ニーズが徐々にはく落するとともに上昇基調となり、12月初旬に-0.10%近辺となった後は横ばい圏で推移しました。しかし、2月下旬から世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、3月にはリスク回避の動きが強まったことから、安全資産としての短期国債への運用ニーズの強まりを背景に3月下旬に利回りは一時-0.40%台まで低下しました。過度な国債需給の引き締めりに対し、日銀が保有国債の売り現先（買い戻し条件付き売却）を断続的に実施したことから徐々に需給が緩和し、利回りは上昇に転

じました。その後は政府による大規模経済対策が策定され、5月から短期国債が大幅に増発されたことから利回りは上昇基調をたどりましたが、日銀が短期国債買入額を増額したことから利回り上昇は一服しました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.290%に対し、期末は-0.090%へ上昇しました。

▶ ポートフォリオについて (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

2%の物価安定目標の達成が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細 (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.005% (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.005	

期中の平均基準価額は9,975円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	特 殊 債 券	9,516	— (7,200)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年10月12日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率	5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	9,400 (9,400)	9,461 (9,461)	74.8 (74.8)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	74.8 (74.8)
合 計	9,400 (9,400)	9,461 (9,461)	74.8 (74.8)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	74.8 (74.8)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘	柄	期		末	
			利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
			%	千円	千円	
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	第124回	政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	2,400	2,406	2020/12/28
	第133回	政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	2,300	2,316	2021/4/30
	第135回	政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	2,400	2,417	2021/5/31
	第142回	政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	2,300	2,321	2021/8/31
合 計	計		—	9,400	9,461	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2020年10月12日現在)

項 目	期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公 社 債	9,461	74.8		
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,186	25.2		
投 資 信 託 財 産 総 額	12,647	100.0		

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年10月12日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	12,647,720円
コール・ローン等	3,154,457
公社債(評価額)	9,461,469
未収利息	29,022
前払費用	2,772
(B) 負 債	53
未払利息	8
その他未払費用	45
(C) 純資産総額(A-B)	12,647,667
元 本	12,685,274
次期繰越損益金	△ 37,607
(D) 受益権総口数	12,685,274口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,970円

※当期における期首元本額10,580,853円、期中追加設定元本額2,104,421円、期中一部解約元本額0円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

ヘルスケア・リート・プラス	3,392,751円
米国・地方公共事業債ファンド(為替ヘッジあり)	50,056円
米国・地方公共事業債ファンド(為替ヘッジなし)	28,023円
世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2017-03	871,211円
ライフ・ジャーニー(かしこく育てるコース)	2,543,560円
ライフ・ジャーニー(かしこく使うコース)	2,453,434円
ライフ・ジャーニー(充実して楽しむコース)	721,009円
人生100年時代・世界分散ファンド(資産成長型)	100,141円
人生100年時代・世界分散ファンド(3%目標受取型)	100,141円
人生100年時代・世界分散ファンド(6%目標受取型)	100,141円
人生100年応援ファンド(資産成長コース)	64,109円
人生100年応援ファンド(ちよっぴり受取コース)	32,055円
人生100年応援ファンド(おもいっきり受取コース)	24,041円
MF S・グローバル株式ファンド	100,181円
テトラ・エクイティ	1,503,157円
ボンド・ゼロトリプル(予想分配金提示型)	300,632円
ボンド・ゼロトリプル(資産成長型)	300,632円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2019年10月16日 至2020年10月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	94,739円
受 取 利 息	97,728
支 払 利 息	△ 2,989
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△105,952
売 買 損	△105,952
(C) 信 託 報 酬 等	△ 683
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 11,896
(E) 前期繰越損益金	△ 21,290
(F) 追加信託差損益金	△ 4,421
(G) 計 (D+E+F)	△ 37,607
次期繰越損益金(G)	△ 37,607

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。